B6FH-1811-01

FMV DESKPOWER

液晶ディスプレイ一17TV
(VL-17VSI)

インスタントテレビ機能 取扱説明書

FUJITSU

はじめに

このたびは、弊社の液晶ディスプレイー 17TV（VL-17VS1）（以降、本製品と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は FMV-DESKPOWER とのセット商品です。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2004 年 4 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。また、パソコン本体に添付の『パソコンの準備』の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルおよび『パソコンの準備』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

注 意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がパソコン用ディスプレイとしての使用において国際エネルギースタープログラムの基準を満たしていると判断します。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、ＢＳ アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

本製品でテレビや DVD、ゲームなどの映像をご覧になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、ホームページなどの画面例については、情報が更新され、画面の一部やメニューの項目などが異なる場合があります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・キーボードの「サポート」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック

製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional	Windows XP
富士通サービスアシスタント V2.4	サービスアシスタント

商標について

Microsoft および Windows、MS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標主または商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2004
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークがつけられています。PC リサイクルマークがついた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルに関する詳細についてはパソコン本体の『FMV 活用ガイド』を参照ください。

Memo

目次

はじめに 1

1 使用上のご注意 7

2 各部の名称と働き 9

3 液晶ディスプレイの接続 14

アンテナと接続する 14

外部映像機器と接続する 15

電源を接続する 17

4 チャンネルの設定 19

チャンネルを検出する 19

チャンネル設定を変更する 21

チャンネルを微調整する 23

5 テレビ放送を見る／外部機器の映像を見る 24

入力を選択する 24

見たいチャンネルを選択する 25

音量を調節する 25

音声を切り換える 25

画面サイズを変更する 26

6 細かい設定を行う 27

画質を選ぶ 27

メニュー画面の基本的な操作 27

調整項目の内容 28

画質を調整する 30

ご購入時の設定に戻す 31

各動作時の調整可能な項目 31

7 盗難防止について 32

8 こんなときは 33

画面が表示されない 33

画面がおかしい 33

音が聞こえない／変な音が聞こえる 34

リモコンで操作できない 35

9 日常のお手入れ 36

10 仕様 37

本体仕様 37

Memo

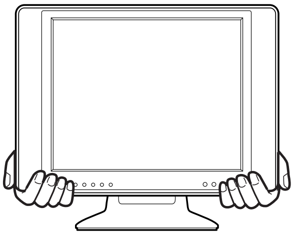
1 使用上のご注意

- 液晶ディスプレイは次の特性を持っていますが、故障ではありません。
  - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
  - 表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがあります。
  - 製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
  - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので予めご了承ください。
  - 本製品には有寿命部品（LCD 等）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
  - 液晶ディスプレイの取り扱いについて

重要

画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷める恐れがあります。「日常のお手入れ」をご覧ください。（··▶ P.36）

  - 衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
  - ひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
  - スピーカ前面を強い力で押したりしないでください。スピーカが破損する原因となることがあります。
  - 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
  - 持ち運びの際は画面やスタンド部を持たないで、右図のように画面下部を両手で持ってください。



- 本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
  - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光が当たらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
  - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調整してください。
  - 本製品およびパソコン本体の設置については、パソコン本体の『パソコンの準備』をご覧ください。
  - テレビやラジオ、衛星放送チューナなどのそばに設置しますと、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
  - 本製品の近くで、携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。

・液晶ディスプレイ専用ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にパソコンの電源を切ってください。
・本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

⚠注意

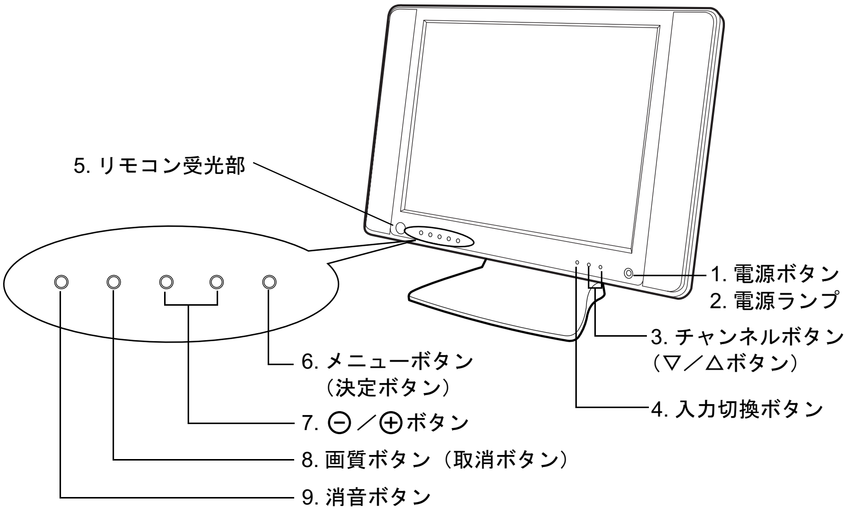
・AC アダプタをぶら下げた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
・AC アダプタは本製品の電源コネクタの奥まで確実に差し込んでください。
・指定外の AC アダプタは使用しないでください。火災・けがの原因となることがあります。
・使用中のディスプレイや AC アダプタなどは、布で覆ったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
・電源ケーブルや接続ケーブルを AC アダプタに巻き付けないでください。感電・火災の原因となることがあります。
・AC アダプタに記載されている注意文をよくお読みの上、お使いください。
・映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を十分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。

⚠警告

・本製品の内部には高電圧部分がありますので、カバーなどを外して分解しないでください。

2 各部の名称と働き

前面



1 電源ボタン

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

2 電源ランプ

電源が入ると緑色に点灯し、省電力時はオレンジ色に点灯します。

3 チャンネルボタン（▽／△ボタン）

テレビのチャンネルを切り換えます。

4 入力切換ボタン

画面に表示する入力信号を切り換える時に使用します。

（ボタンを押すたびにテレビ→ S ビデオ→ビデオ→コンポーネント→ PC（→テレビ）の順で切り換わります）

5 リモコン受光部

リモコンの赤外線信号を受光します。

6 メニューボタン（決定ボタン）

メニュー画面を表示します。

また、メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存する時に使用します。

7 ⊖／⊕ボタン（音量調節ボタン）

本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整する時に使用します。

また、メニュー画面において調整項目を選択したり、設定値を調整する時に使用します。

8 画質ボタン（取消ボタン）

パソコンモード時に画質モードを切り換えます

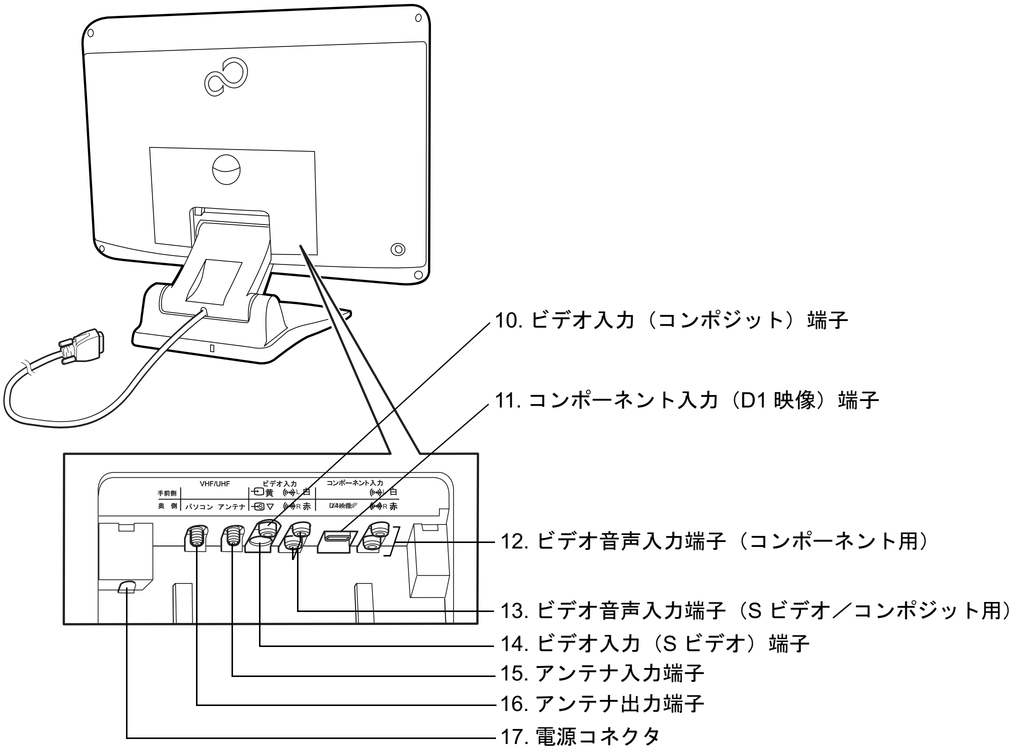
また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、調整値を保存せずにメニューを終了する時に使用します。

9 消音ボタン

本製品のスピーカー出力のオン／オフを切り換えます。

なお、スピーカー出力をオフにしても、ヘッドホンの音量には影響はしません。

背面



カバーを開いた図

10 ビデオ入力（コンポジット）端子

外部映像機器の映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「ビデオ」選択時に表示されます。

11 コンポーネント入力（D1 映像）端子

外部映像機器の映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「コンポーネント」選択時に表示されます。

12 ビデオ音声入力端子（コンポーネント入力用）

外部映像機器の音声出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの音声は、「コンポーネント」選択時に出力されます。

13 ビデオ音声入力端子（S ビデオ／コンポジット入力用）

外部映像機器の音声出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの音声は、「ビデオ」および「S ビデオ」選択時に出力されます。

14 ビデオ入力（S ビデオ）端子

外部映像機器の映像出力端子と接続します。
この端子に接続した機器からの映像は、「S ビデオ」選択時に出力されます。

15 アンテナ入力端子

アンテナケーブルと本製品を接続します。

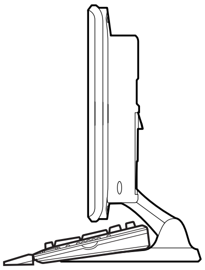
16 アンテナ出力端子

添付の同軸ケーブルでパソコンと本製品を接続します。

17 電源コネクタ

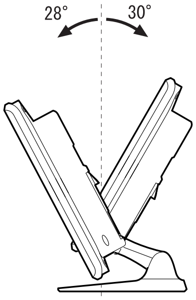
AC アダプタを接続します。

本製品には可動部が2ヵ所あり、画面の位置を上下させたり、前後に傾けたりすることができます。例えば、パソコンをお使いになるとき、より疲れにくくするために画面位置を下げたり（人間工学的には少し見下ろすように画面位置を調節すると、肩などが疲れにくくなります）、パソコンをお使いにならないときには、画面を上げてスタンド部にキーボードを収納したりすることができます。

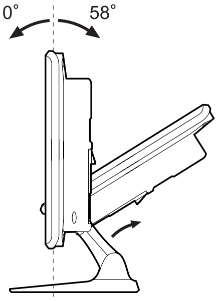


キーボードを収納した時

ディスプレイの傾きや画面の上下位置を調節するときは、ディスプレイの上部とスタンド部をおさえ、お好みの傾きや高さに調節してください。



画面を一番下げたとき



画面を一番上げたとき

⚠注意

・傾きや高さを調節するときに、手などを挟まないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

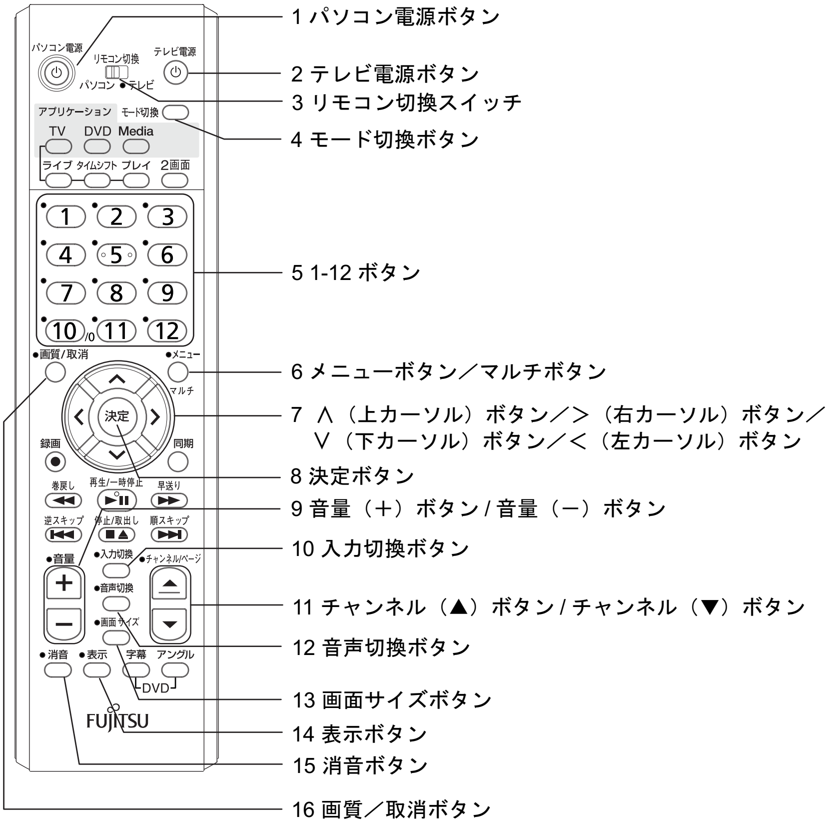
リモコン

重要

リモコンは、パソコン本体に添付されています。本製品の箱には梱包されていません。

POINT

ここではリモコン切換スイッチ（後述）を「テレビ」にした時に操作できるボタンについてのみ説明します。リモコン切換スイッチを「パソコン」にした時の動作、乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、パソコン本体の『FMV の使い方』または『パソコンの準備』をご覧ください。



1 パソコン電源ボタン

2 テレビ電源ボタン

パソコン本体の電源が入っていないときに押すと、インスタントテレビの電源オン／オフを切り換えます。
パソコン本体の電源が入っているときに押すと、パソコンモードとテレビモードを切り換えます。

3 リモコン切換スイッチ

リモコンの操作対象をパソコンまたは本製品に切り換えます。
テレビに切り換えると、リモコンで本製品の操作をすることができます。

4 モード切換ボタン

ディスプレイの動作モードを切り換えます。

パソコンモード：パソコンの画面、音声を出力します。

テレビモード：テレビ又はビデオの画面、音声を出力します。

5 1-12 ボタン

1 ～ 12 のチャンネルを選択します。

6 メニューボタン／マルチボタン

メニュー画面を表示します。

また、メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存するときに使用します。

（本製品のメニューボタン（決定ボタン）と同じ動作をします）

7 ∧（上カーソル）ボタン／＞（右カーソル）ボタン／∨（下カーソル）ボタン／＜（左カーソル）ボタン

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整するときに使用します。

8 決定ボタン

メニュー画面において調整項目を決定したり、調整値を保存する時に使用します。

9 音量（＋）ボタン／音量（－）ボタン

本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整できます。

10 入力切換ボタン

動作モードがテレビモードの時に押すと、表示画面と音声がテレビ→ S ビデオ→ビデオ→コンポーネント（→テレビ）の順で切り換わります。

11 チャンネル（▲）ボタン／チャンネル（▼）ボタン

テレビのチャンネルを切り換えます。

（本製品のチャンネルボタンと同じ動作をします）

12 音声切換ボタン

音声多重放送の場合に、音声を切り換えます。

ボタンを押す度に、主音声→副音声→主＋副音声（→主音声）の順で切り換わります。

13 画面サイズボタン

画面サイズを切り換えます。

14 表示ボタン

入力信号の情報を表示します。

15 消音ボタン

本製品のスピーカー出力のオン／オフを切り換えます。

（本製品の消音ボタンと同じ動作をします）

16 画質／取消ボタン

パソコンモード時に画質モードを切り換えます。

また、メニュー画面において調整中の値を取り消したり、調整した値を保存せずにメニューを終了するときに使用します。

（本製品の画質ボタン（取消ボタン）と同じ動作をします）

3 液晶ディスプレイの接続

重要

全ての接続が終了するまで、本製品の電源を入れないでください。
パソコン本体と接続する場合はパソコン本体との接続も終了させてから本製品の電源を入れてください。パソコン本体との接続については、パソコン本体の『パソコンの準備』をご覧ください。
なお、AC アダプタを接続した時に自動的に電源が入るため、AC アダプタは必ず最後に接続してください。

アンテナと接続する

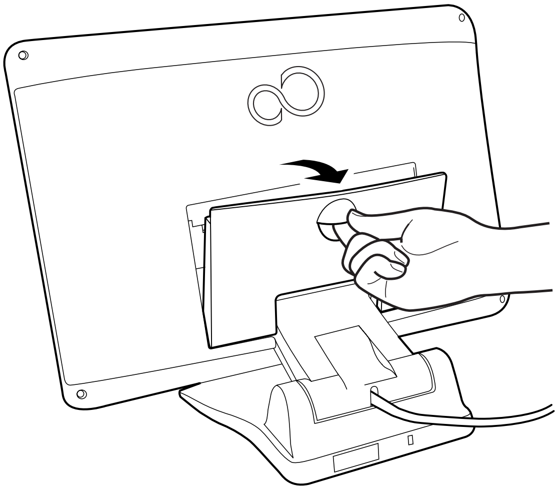
⚠警告

・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

POINT

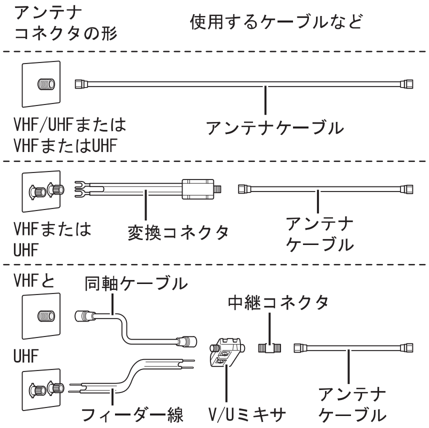
アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。テレビと接続しているアンテナケーブルを外して接続するか、市販のものをご購入ください。ご購入する場合は、ケーブルは適切な長さのものを選択してください。
アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合せください。

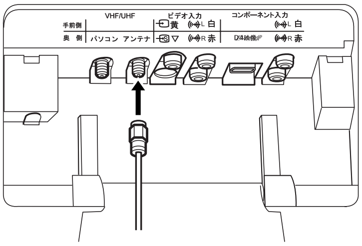
1 本製品背面のカバーをつまみを持って開きます。



2 アンテナケーブルと本製品を接続します。

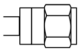
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類をご購入の上、接続してください。すでにアンテナケーブルが、お客様がお使いのテレビに接続されている場合は、テレビからアンテナケーブルを取り外し、本製品のアンテナ入力端子に接続してください。





重 要

- ネジ式の F 型プラグをお使いください。
- アンテナケーブルと本製品の接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグのご使用をお勧めします。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタのマニュアルをご覧になるか、電気店にお問い合わせください。



F 型プラグ

- 本製品にアンテナケーブル、同軸ケーブルを接続する際は、コネクタの中心にある金属芯を折らないよう、注意して扱ってください。
- F 型コネクタプラグ以外で接続する場合は、以下の点にご注意ください
  - コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
  - また、Sビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
  - ネジ式のF型コネクタプラグに比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

外部映像機器と接続する

1 必要なものを用意します。

次のものを用意します。

■ ビデオデッキやビデオカメラ、BS/CS チューナーなどの映像機器

映像出力端子としてコンポジット端子、S 端子またはコンポーネント端子を持つものがお使いになれます。各社から発売されています。

■ ビデオケーブル、S 端子ケーブルまたはコンポーネントケーブル

本製品と上記映像機器を接続するケーブルです。映像機器の出力端子に合わせてご用意ください。

■音声ケーブル

映像機器の音声出力と、本製品のビデオ音声入力端子を接続します。映像機器側の接続については、映像機器のマニュアルをご覧になり、接続に適したケーブルをご購入ください。また、ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

■映像機器のマニュアル

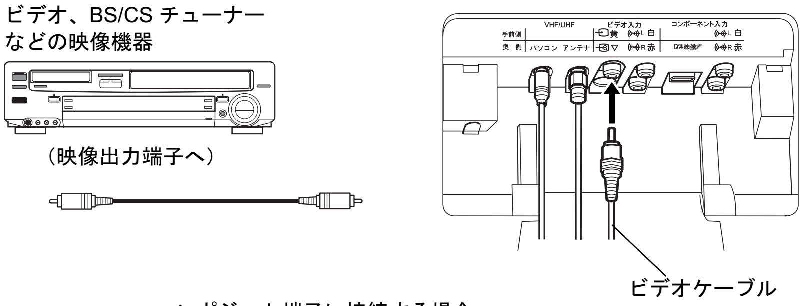
映像機器によって接続が異なります。必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

2 映像信号ケーブルを接続します。

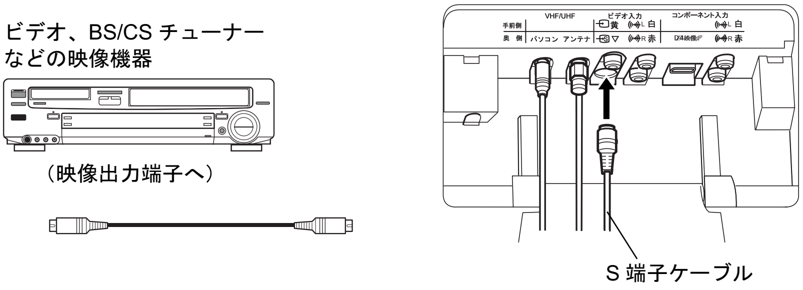
映像信号ケーブルの一端を本製品の対応する映像入力端子に、反対側を映像機器側の映像出力端子に接続します。

重 要

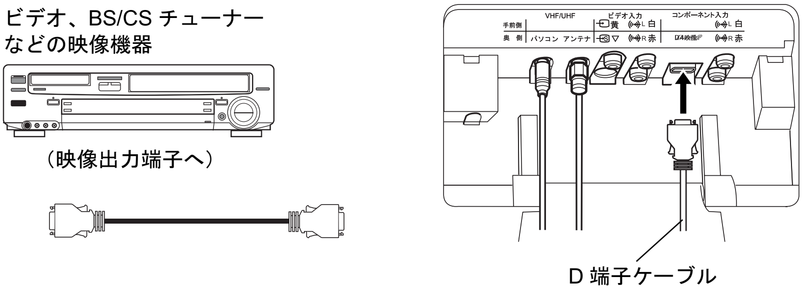
- S 端子ケーブルを接続する場合は、プラグと端子の向きをよく確認してから差し込んでください。無理に差し込むと、本製品およびケーブル、映像機器を破損するおそれがあります。



コンポジット端子に接続する場合



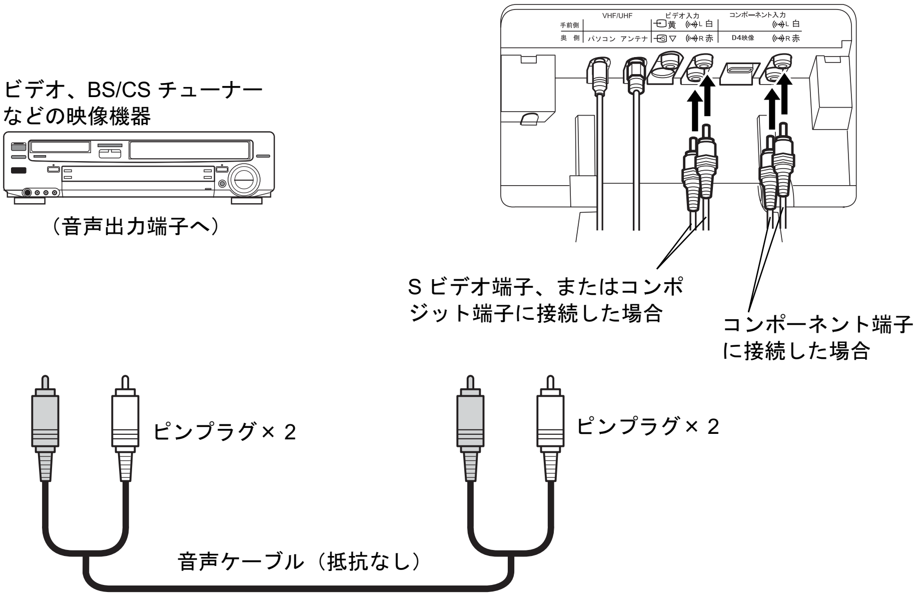
S ビデオ端子に接続する場合



コンポーネント端子に接続する場合

3 音声ケーブルを接続します。

音声ケーブル一端を本製品の、手順 2 で接続した映像信号ケーブルに対応する音声入力端子に、反対側を映像機器側の音声出力端子に接続します。
音声ケーブルのピンプラグの色と、本製品の端子の色を合わせて差し込んでください。

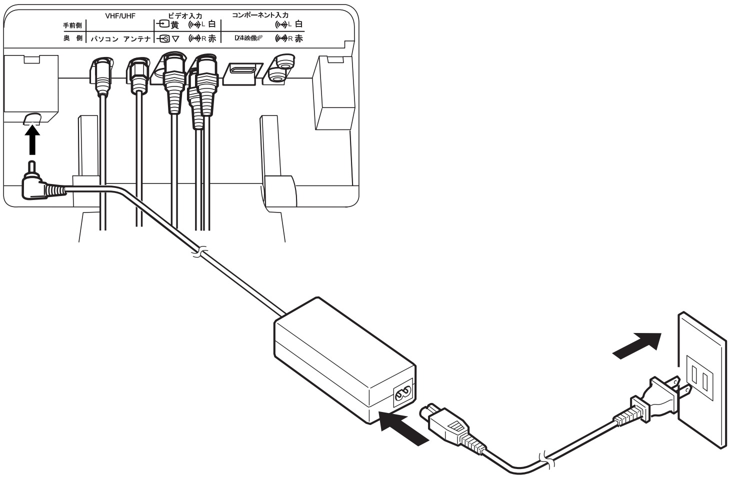


電源を接続する

重 要

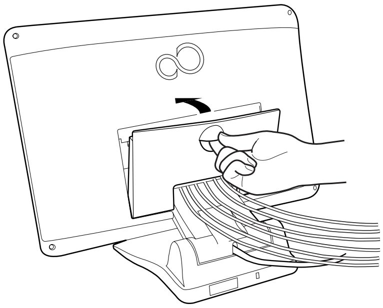
AC アダプタを接続した時には、一度自動的に本製品の電源が入ります。

1 本製品の電源コネクタに添付のACアダプタを接続し、電源プラグをコンセントにつなぎます。



2 全ての接続が完了したことを確認し、カバーを閉じます。

ケーブルを挟み込まないよう注意してください。



⚠注意

- 本製品はコンセントの近くに設置し、異常が発生したときにすぐに対応できるようにしてください。
- 万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

4 チャンネルの設定

チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

POINT

- チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
- CATV の受信はサービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、サービスを行っている CATV 会社へご相談ください。
- BS 放送、CS 放送は受信できません。
- パソコン本体にインストールされている「TVfunSTUDIO™」のチャンネルを設定すると、そのうち 1 ～ 16 チャンネルの内容が本製品の設定にも反映されます。液晶ディスプレイのチャンネル設定を個別に行う場合には、「TVfunSTUDIO™」のチャンネル設定を実行した後に、改めて液晶ディスプレイのチャンネル設定を行ってください。
「TVfunSTUDIO™」のチャンネル設定については、『テレビを見る・撮る・残すガイド』をご覧ください。

重 要

- リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

1 **ディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れます。**

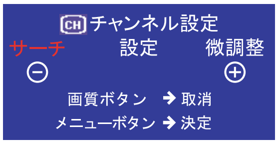
2 **ディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。**

テレビ入力が選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。

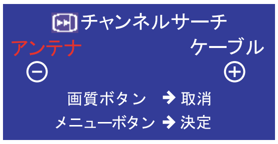
3 **メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。**

4 **⊖／⊕ボタンで「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。**

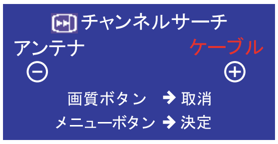
5 **⊖／⊕ボタンで「サーチ」を選択し、メニューボタンを押します。**



6 本製品を VHF/UHF アンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATV と接続した場合には「ケーブル」を選択します。

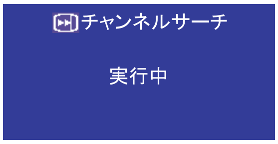


VHF/UHF の場合



CATV の場合

7 メニューボタンを押すとチャンネルサーチを開始します。

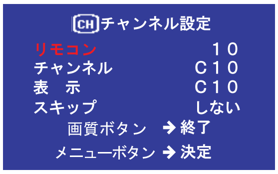


POINT

電波の受信状態が悪い場合､チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。

8 チャンネルサーチが完了すると、自動的にチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル設定を変更する必要が無ければ、画質ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



POINT

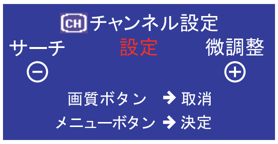
チャンネルサーチは､放送電波を対応するチャンネル番号に割り当てていきますが､ご使用になる地域などの条件によっては､一部のチャンネルが割り当てから外れてしまうことがあります。その場合は次の「チャンネル設定を変更する」を行ってください。

チャンネル設定を変更する

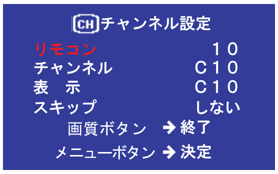
リモコンの各番号ボタンに割り当てる受信チャンネルを設定します。また、画面右上に表示されるチャンネルの番号を設定することができます。

1 **メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。**

2 **⊖／⊕ボタンで「設定」を選択し、メニューボタンを押します。**



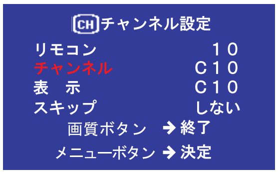
3 **⊖／⊕ボタンで「リモコン」を選択し、メニューボタンを押します。**



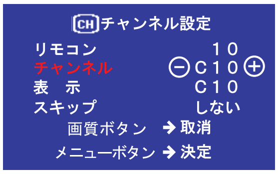
4 **⊖／⊕ボタンで割り当てを変更したいボタンの番号を選択し、メニューボタンを押します。**

ここで選択した番号に対して、受信チャンネルと表示の設定変更を行います。

5 **⊖／⊕ボタンで「受信チャンネル」を選択し、メニューボタンを押します。**



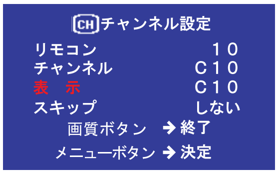
6 ⊖／⊕ボタンで割り当てたい受信チャンネルを選択し、メニューボタンを押します。



POINT

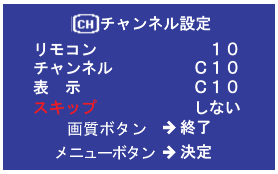
チャンネルサーチから続けてチャンネル設定を行っている場合､選択できるのは検出できたチャンネルのみとなります。

7 ⊖／⊕ボタンで「表示」を選択し、メニューボタンを押します。



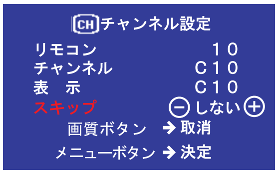
8 ⊖／⊕ボタンで表示させる番号を設定し、メニューボタンを押します。

9 ⊖／⊕ボタンで「スキップ」を選択し、決定ボタンを押します。



10 ⊖／⊕ボタンで｢する｣または｢しない｣を選択し､決定ボタンを押します。

「する」に設定すると、リモコンの▲／▼ボタンまたは本体の△／▽ボタンでチャンネルを切り換えたときに、そのチャンネルを飛ばして表示します。



11 続けて他のチャンネルを設定する場合、手順 3 ～ 10 を繰り返します。

12 **全ての設定が完了したら画質／取消ボタンを押します。**

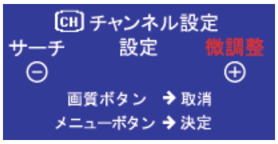
チャンネルを微調整する

ご使用になる地域やCATV、マンションなどの共同受信システムによっては、微調整を行うことにより画質が良くなることがあります。また、チャンネルボタン（▽／△ボタン）でチャンネルを切り換えたときに、不要なチャンネルを飛ばすように設定することができます。

1 **メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。**

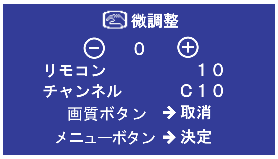
2 **⊖／⊕ボタンで「チャンネル設定」を選択し、メニューボタンを押します。**

3 **⊖／⊕ボタンで「微調整」を選択し、メニューボタンを押します。**



4 **リモコンの1－12ボタン、▲／▼ボタン、またはディスプレイ本体の△／▽ボタンを使用して、微調整したいチャンネルを表示します。**

5 **⊖／⊕ボタンで最適な画質になるように調整します。**



POINT

調整値の範囲は－８～＋８です。

6 **他のチャンネルについても微調整を行なう場合は、手順4～5を繰り返します。**

7 **すべてのチャンネルの微調整が終了したら、メニューボタンを押します。**

5　テレビ放送を見る／外部機器の映像を見る

重 要

リモコンの操作はすべて、リモコン切換スイッチが「テレビ」になっている場合です。もしリモコン切換スイッチが「パソコン」になっている場合は、操作を行う前に「テレビ」に切り換えてください。

入力を選択する

1　ディスプレイ本体の電源ボタンを押して、本製品の電源を入れます。

2　次のようにして、ご覧になりたい入力を選択します。

■リモコンを使う

1. リモコンのモード切換ボタンを押してテレビモードに切り換えます。
   テレビモードが選択されると、画面右上に「テレビ」、「S ビデオ」、「ビデオ」、「コンポーネント」のいずれかが表示されます。
2. リモコンの入力切換ボタンを押して、お好みの入力を選択します。
   入力切換ボタンを押すたびに「テレビ」→「S ビデオ」→「ビデオ」→「コンポーネント」（→「テレビ」）の順に切り換わります。

■ディスプレイ本体の入力切換ボタンを使う

1. ディスプレイ本体の入力切換ボタンを押して、お好みの入力を選択します。
   入力切換ボタンを押すたびに「PC」→「テレビ」→「S ビデオ」→「ビデオ」→「コンポーネント」（→「PC」）の順に切り換わります。

テレビ放送をご覧になる場合は「テレビ」を、外部機器の映像をご覧になる場合は外部機器を接続した端子に対応する入力を選択します。
現在の入力は、画面右上に表示されます。

重 要

・ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
・映像機器や映像媒体によっては、画面が乱れることがあります。

見たいチャンネルを選択する

テレビ入力を選択後、次の手順でご覧になりたいチャンネルを選択します。

リモコンの 1 － 12 ボタンを使う

見たいチャンネルの番号を押すと、そのチャンネルが表示されます。

重要

13 ～ 16 チャンネルをご覧になるには、リモコンまたは本体のチャンネルボタンをご利用ください。
1－12 ボタンを 10 ボタン→ 3 ボタンのように押しても、13 ～ 16 チャンネルを選択することはできません。

リモコンまたは本体のチャンネルボタンを使う

▲ボタンまたは△ボタンを押すと数字の大きい方に、▼ボタンまたは▽ボタンを押すと数字の小さい方にチャンネルを切り換えます。
このとき、チャンネル設定でスキップを「する」に設定したチャンネルは飛ばされます。

音量を調節する

1 **リモコンまたは本体の音量ボタンを押して、音量を調節します。**

⊕ボタンを押すと音量が大きくなり、⊖ボタンを押すと小さくなります。

音声を切り換える

テレビ入力で二カ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに、音声モードを選択することができます。

1 **リモコンの音声切換ボタンを押して、ご希望の音声モードを選択します。**

POINT

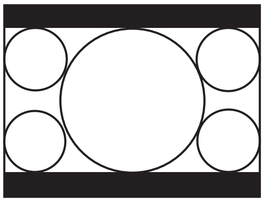
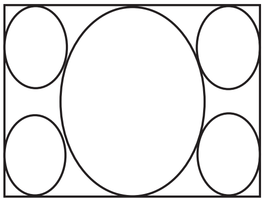
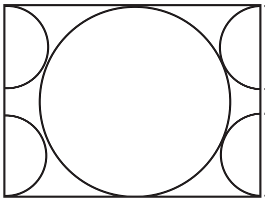
「主 / 副」を選択した場合、左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声が聞こえます。

画面サイズを変更する

お好みに応じてワイド映像を表示するときの画面サイズを変更することができます。

1 **画面サイズボタンでお好みの画面サイズを選択します。**

ボタンを押すたびに、「ノーマル」→「フル」→「ズーム」の順で切り換わります。

画面サイズ	解説
 ノーマル	映像を拡大せずに、縦横比４：３で表示します。
 フル	映像を画面いっぱいに拡大して表示します。
 ズーム	映像の縦横比を保ったまま、画面の上下いっぱいに拡大して表示します。このとき、映像の左右はカットされます。

重要

本製品を営利目的。または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、画面が拡大、圧縮、または一部カットされた状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

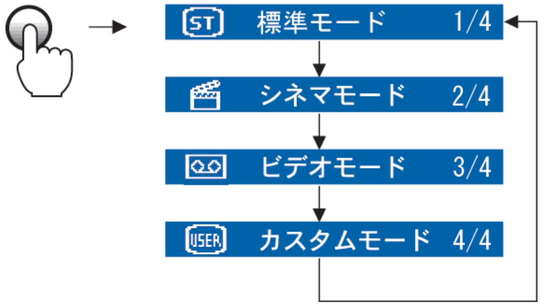
6 細かい設定を行う

重要

- リモコンで操作する場合は、リモコン切換スイッチを「テレビ」にしてから操作してください。

画質を選ぶ

メニュー画面が表示されていない時に画質ボタンを押すと､映像の内容に合わせて画質モードを選ぶことができます。
画質ボタンを 1 回押すと、現在の画質モードが表示されます。続けて押すと、以下のように選択が変わります。



重要

- メニュー画面等が表示されているときは画質モードの選択ができませんので、メニュー画面等の表示が消えた後に、画質ボタンでお好みの画質をお選びください。
  メニュー画面については「細かい設定を行う」（••▶ P.27）をご覧ください。
- カスタムモードの細かい調整は、画質ボタンでカスタムモードを選択後、メニューボタンでメニューを表示させ、調整を行ってください。
  「画質を調整する」（••▶ P.30）

メニュー画面の基本的な操作

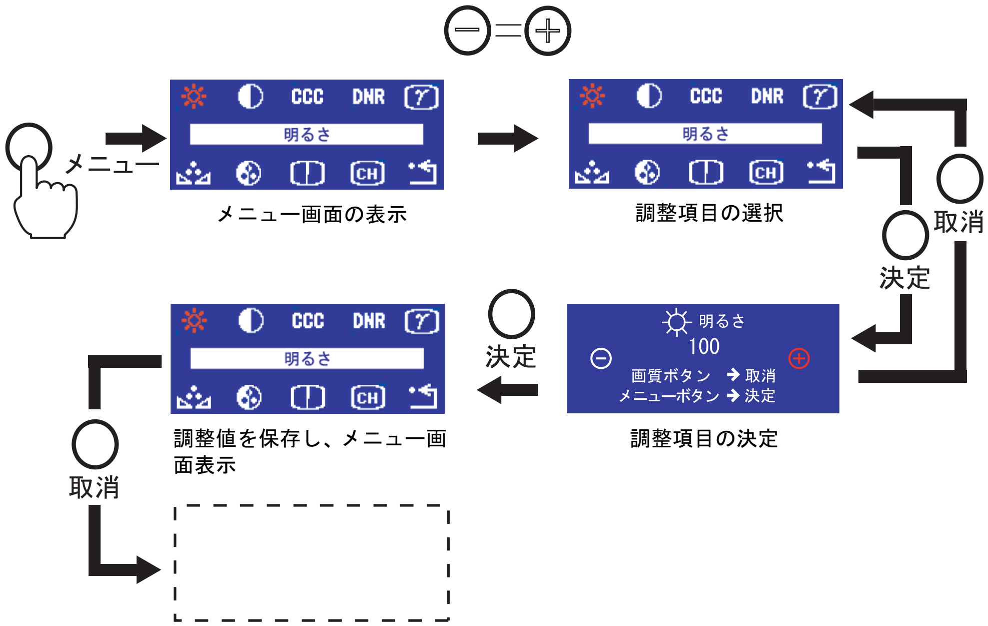
本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、画面下のメニュー／決定ボタン、⊖／⊕ボタン、画質／取消ボタン、消音ボタン（またはリモコンのメニューボタン、＜／＞ボタン、画質／取消ボタン、消音ボタン））を使用します。

ボタンの基本機能

メニュー／決定ボタン（メニューボタン）	→	メニュー表示／決定
⊖／⊕ボタン（音量（－）ボタン／音量（＋）ボタン）	→	選択／調整／音量調整
画質／取消ボタン	→	画質選択／取消
消音ボタン	→	消音

操作手順

例）明るさ



10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、調整値が自動的に保存されます。次に電源を入れたときには、保存された内容で画面が表示されます。

POINT

音量調整、画質選択、スピーカーオン／オフのいずれかが表示されている状態で、3 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示が自動的に消えます。

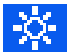
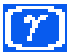
重 要

- 各解像度とも保存された内容で画面が表示されます。

調整項目の内容

画面に表示する入力や画質モードによって選択できる調整項目は異なります。

「各動作時の調整可能な項目」（ P.31）

アイコン	名称	機能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
 (注 4)	ガンマ補正	画面の明暗部分のバランスを 3 種類から選択します。 **PC（標準）**：適度なコントラストで標準的な画質になります。 **シネマ**：暗い部分の微妙な違いを再現するのに適した画質になります。 **ビデオ**：コントラストが高く、メリハリの強い画質になります。

アイコン	名称	機能
(注 4)	色あい	画面の色あいを調整します。 ＋：赤みがかります。 －：緑がかります。
(注 4)	色のこさ	画面の色の濃さを調整します。 ＋：濃くなります。 －：薄くなります。
	リセット	チャンネル設定を除く全ての項目をご購入時の設定にします。
(注 2) (注 4)	コントラスト	画面の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。
(注 3)	チャンネル設定	チャンネルの設定を行います。 **サーチ**：放送電波を自動検出し、チャンネルを設定します。 **設定**：リモコンの数字ボタンへのチャンネルの割り当てを設定します。 **微調整**：各チャンネルの受信状態を微調整します。また、チャンネルボタン（▽／△ボタン）操作時のスキップの設定をします。
(注 2)	クロスカラーキャンセラ	画面の色にじみを防止します。
(注 2)	デジタルノイズリダクション	画面のざらつきを低減します。

音量調整、スピーカーオン／オフは、それぞれメニュー画面を表示せずに直接⊖／⊕ボタン、消音ボタンで調整できます。

アイコン	名称	機能
／（ヘッドホン装着時）	音量	本製品のスピーカーまたはヘッドホンの音量を調整します。 ⊕ボタンを押すと音量が大きく、⊖ボタンを押すと音量が小さくなります。 スピーカーオフの設定時に音量を調整すると、スピーカーオフは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。
／	スピーカーオン／オフ	本製品のスピーカーのオン／オフを選択します。 外付けのスピーカーを使用したいときなどに、本製品のスピーカーをオフにすることができます。 消音ボタンを押すたびに、オンとオフをくり返します。スピーカーオフのときに音量を調整すると、スピーカーオフは解除されます。

(注 1) パソコンモードのみ
(注 2) テレビモードのみ
(注 3) テレビ入力時のみ
(注 4) カスタムモードのみ

画質を調整する

以下の項目を調整し、お好みの画質に設定することができます。

■テレビモード時

全画質モード共通　：明るさ、シャープネス、クロスカラーキャンセラ、デジタルノイズリダクション
カスタムモードのみ：コントラスト、ガンマ補正（明暗のバランス）、色あい、色のこさ

■パソコンモード時

全画質モード共通：明るさ
カスタムモードのみ：カラー、ガンマ補正、色あい、色のこさ

1 **メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。**

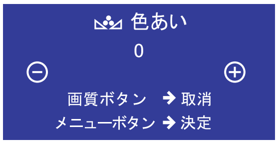
2 **⊖／⊕ボタンで調整したい項目を選択し、メニューボタンを押します。**

3 **⊖／⊕ボタンで、お好みの調整値また設定値を選択し、メニューボタンを押します。**

明るさ

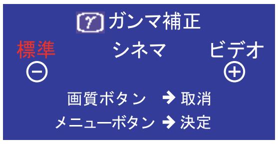
コントラス

色合い

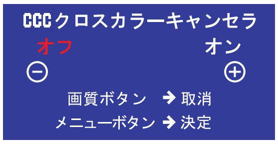


色のこさ

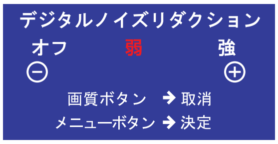
ガンマ補正（テレビモード）



クロスカラーキャンセラ



デジタルノイズリダクション



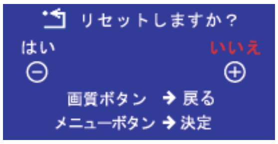
ご購入時の設定に戻す

チャンネル設定以外の全ての項目をご購入時の設定に戻すことができます。

1 **メニューボタンを押してメニュー画面を表示します。**

2 **⊖／⊕ボタンで「リセット」を選択し、メニューボタンを押します。**

3 **⊖／⊕ボタンで「はい」を選択し、メニューボタンを押します。**



各動作時の調整可能な項目

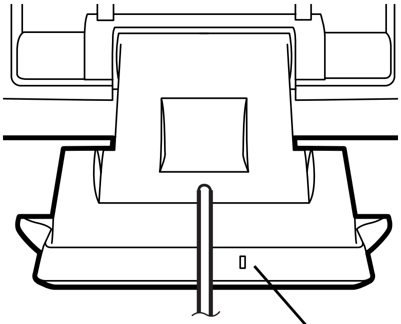
	パソコンモード		テレビモード	
	カスタムモード	その他のモード	カスタムモード	その他のモード
音量調整	○	○	○	○
スピーカーオン／オフ	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○
カラー	○	×	×	×
ガンマ補正	○	×	○	×
色あい	○	×	○	×
色のこさ	○	×	○	×
コントラスト	×	×	○	×
シャープネス	×	×	○	○
情報表示	○	○	×	×
クロスカラーキャンセラ	×	×	○	○
デジタルノイズリダクション	×	×	○	○
チャンネル設定	×	×	○（注）	○（注）
リセット	○	○	○	○

（注）： テレビ入力時のみ

7 盗難防止について

本製品のスタンド部背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。

市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。



POINT

・盗難防止用ロック取り付け穴は、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
盗難防止用ケーブルは、次のものを購入してください。
商品名：SLIM MICROSAVER
商品番号：0522011
（富士通コワーコ株式会社取り扱い品　お問い合わせ：03-3342-5375）

8 こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
下図の〔参照ページ〕に『　』で表記されているのは、パソコン本体側のマニュアル名です。該当するマニュアルをご覧ください。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート & サービスのご案内』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルまたは AC アダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたは AC アダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」（▶ P.17）
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と働き」（▶ P.9）
電源ランプが緑色に点灯している	ビデオ入力端子に接続された映像機器の電源が入っていない。	映像機器の電源を入れてください。または入力切換ボタンで他の入力を選択してください。	－

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	『FMV の使い方』
画面が明るすぎる	明るさが最大になっている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「画質を調整する」（▶ P.30）
画面が暗くなった	明るさが最小になっている。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「画質を調整する」（▶ P.30）
	液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。	－
画面を切り替えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	本製品の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。	－
画面いっぱいに表示されない	ワイド画面切替が映像の縦横比と合っていない。	ワイド画面切替を映像の縦横比に合わせて変更するか、「フル」に設定してください。	「画面サイズを変更する」（▶ P.26）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードまたはガンマ補正を変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」（••► P.27）および「画質を調整する」（••► P.30）
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」（••► P.14）
	チャンネルが設定されていない。	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」（••► P.19）
	テレビ入力が選択されていない	モード切換ボタンおよび入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えてください	「テレビ放送を見る／外部機器の映像を見る」（••► P.24）
テレビ放送の映像が不鮮明	電波の受信状態がよくない。	チャンネル設定の微調整で、最適になるよう調整してください。	「チャンネルを微調整する」（••► P.23）
	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	「アンテナと接続する」（••► P.14）
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	アンテナの位置、方向、角度を調整してください。	−
・テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える ・テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高圧線、ヘアドライヤーなどの電化製品からの影響を受けている。	設置場所を変えてみてください。	−

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている	消音ボタンを押して、スピーカーオン／オフを切り替えてください。	「各部の名称と働き」（••► P.9）
	音量が最小になっている。	メニュー画面が表示されていない状態で、⊕、⊖ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と働き」（••► P.9）
	本製品にヘッドホンが接続されている。	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	−
	ビデオ入力の音声ケーブルが接続されていない。	本製品および映像機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「外部映像機器と接続する」（••► P.15）
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHS などの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHS などを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	−
入力切換時や電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	−
チャンネル切換時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択したため。	他のチャンネルを選択するかチャンネル設定を変更してください。	「チャンネル設定を変更する」（••► P.21）

リモコンで操作できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』
	リモコン電池の極性（＋－）が逆になっている。	電池の極性（＋－）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』
	リモコン切換スイッチがパソコン側になっている。	本製品をリモコンで操作する場合は、リモコン切換スイッチをテレビ側にしてください。	「各部の名称と働き」（→ P.9）
	本製品の電源ケーブルまたは AC アダプタが正しく接続されていない。	電源ケーブルまたは AC アダプタを正しく奥まで確実に接続してください。	「電源を接続する」（→ P.17）
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている。	本製品の向き、設置場所を変えてください。	－
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いてない。	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	－
	本製品またはリモコンの近くで、プラズマテレビやハロゲンヒーターなどを使用している	本製品をプラズマテレビなどから離して設置してください。リモコンをプラズマテレビなどから離してご使用ください。	－

9 日常のお手入れ

清掃する

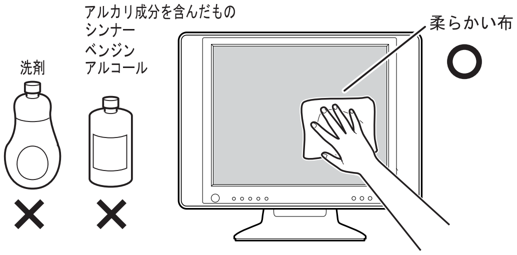
お手入れの前に本製品の電源を切ったあと、本製品に接続されているすべてのケーブルを抜いてください。

重 要

市販クリーナは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
・アルカリ性成分を含んだもの
・界面活性剤を含んだもの
・アルコール成分を含んだもの
・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
・研磨材を含むもの
・化学ぞうきん
など

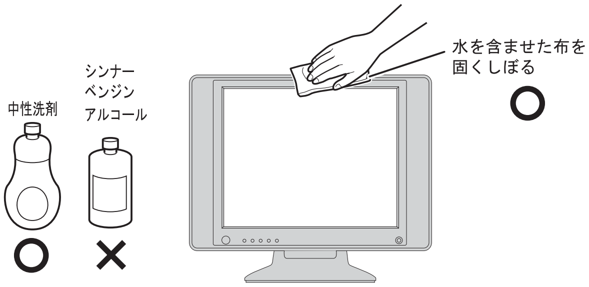
■画面の清掃

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



■カバーの清掃

水または中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。
また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように十分注意してください。

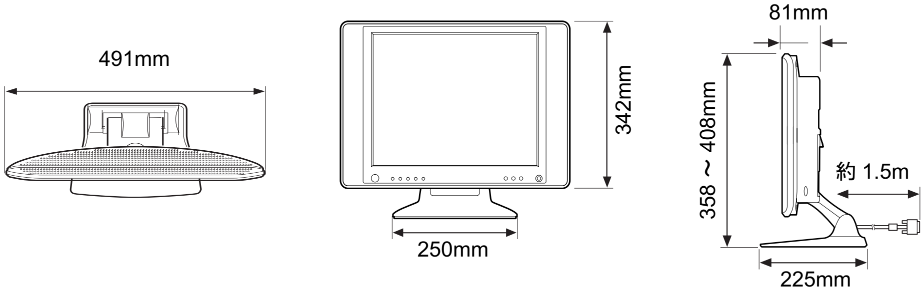


10 仕様

本体仕様

項目		仕様
対応機種		FMV-DESKPOWER
入出力 I/F	専用 LCD インタフェース	映像信号：デジタル（TMDS）
		DDC：DDC2B（VESA）
		電源：DC5V、12V
		AUDIO IN：アナログ
	テレビ	アンテナ入力× 1、アンテナ出力× 1
	ビデオ	ビデオ入力（S ビデオ）× 1 ビデオ入力（コンポジット）× 1 ビデオ入力（コンポーネント（D1））× 1 ビデオ音声入力（S ビデオ／コンポジット入力用）×左右各 1 ビデオ音声入力（コンポーネント入力用）×左右各 1
	ヘッドホン端子	32 Ω インピーダンスのヘッドホンを推奨
表示部	解像度	1280 × 1024
	液晶パネル	TFT カラー液晶
	表示色	1619 万色
	表示寸法	388mm (H) × 271mm (V)
	画面サイズ	17.0 型（対角 43cm）
	画素ピッチ	0.264mm × 0.264mm
機能	解像度	VGA、SVGA、XGA、SXGA 640 × 400、720 × 400
	チルト	-28° ～ 30° （画面を一番下げたとき） 0° ～ 58° （画面を一番上げたとき）
電源	入力	AC100V 50/60Hz
	最大消費電力	33W（通常時 29W、省電力時 3W 以下）
テレビ	受信チャンネル	VHF：1 ～ 12 チャンネル UHF：13 ～ 62 チャンネル CATV：C13 ～ C63 チャンネル
	NTSC 入力仕様	コンポジット　$1V_{P-P}$ 75 Ω S ビデオ　Y：$1V_{P-P}$ 75 Ω、C：0.286Vp-p 75 Ω コンポーネント　Y：1Vp-p 75 Ω、Pb/Pr：± 350mVp-p 75 Ω
	TV 音声仕様	ステレオ、音声多重出力
	コネクタ	アンテナ入出力端子：75 Ω 同軸 F 型コネクタ× 2 ビデオ入力端子（S ビデオ）：ミニ DIN4 ピンジャック ビデオ入力端子（コンポジット）：RCA ピンジャック ビデオ入力端子（コンポーネント）：D 端子× 1 音声入力端子（右／左）：RCA ピンジャック× 4

項目			仕様
リモコン	通信方式		赤外線方式
	使用可能距離		3m
	乾電池の寿命目安		約 6ヶ月（マンガン乾電池使用時）
	使用可能範囲	水平	約 30°
		垂直	上：約 10° ／下：約 40°
	使用電池		単 3 乾電池 2 本
スピーカー	方式		バスレフ方式
	定格（最大）出力		1W × 2
外形寸法			491mm (W) × 225mm (D) × 358 ～ 408mm (H)
質量			約 8.0kg（AC アダプタを含む）
使用環境			温度 :10 ～ 35 ℃
			湿度 :20 ～ 80%（RH） （最高湿球温度 29 ℃　結露しないこと）



FMV-DESKPOWER

液晶ディスプレイ－ 17TV（VL-17DS1）

インスタントテレビ機能　取扱説明書

B6FH-1811-01 Z2-00

発 行 日　2004 年 4 月

発行責任　富士通株式会社

● このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

● このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

● 無断転載を禁じます。